

アトツギトレセンの活用事例①

(株) 山口木材店 [根室市] 山口 人士 氏

トレセン加入

アトツギ合宿
参加

メンターから
の個別指導

アトツギ甲子園
出場

今後の展望

- 同業種・関連産業が衰退する中、**112年続く製材工場が目指す今後のビジョンや事業展開を深堀りする機会としてアトツギ合宿に参加。**合宿後含め先輩アトツギによる個別指導を受ける。
- 事業内容をブラッシュアップの上、『「一山の力」で実現する、北海道産材を活かした暮らしと循環の実現』というテーマでまとめて、第5回アトツギ甲子園に出場し、**ピッチ発表にチャレンジ。**



アトツギ合宿※の様子
(※北見市で実施したアトツギ支援イベント)



アトツギ甲子園の様子

- アトツギ甲子園で発表したプランの実現のため、よろず支援拠点や当局、金融機関等へ経営ビジョンや補助金活用について相談中。
- コミュニティを通じたアトツギトレセン参加者との**交流機会の獲得。**

【山口氏のコメント】

自分と同様の立場にある方々との交流を持てたことで、刺激になっています。

また、メンターや関係機関の皆さんから事業プランや課題についての意見等もいただけるので、**ブラッシュアップの機会として有益に捉えています。**

アトツギトレセンの活用事例②

小田島水産食品（株） [函館市] 営業部長 小田島 章喜 氏

トレセン加入

アトツギ
イベント参加

アトツギとの
ネットワーク構築

今後の展望

- 創業から100年以上の歴史を持つ水産加工会社のアトツギ。地元信金主催のアトツギイベントやワークショップに参加し、ネットワーク作りや自社ビジョンについての検討を重ねてきた。
- 記録的なイカ不漁という逆境の中で新規事業を模索し、家業に戻ってから水産加工品の直売所兼飲食店を展開。
- 地元の学生団体と協同して水族館兼コワーキングスペースを設置するなど、地元にも寄与する取組を進めている。



全道的に珍しい木樽でつくる塩辛が名物



ワークショップin函館の様子

- イベントで繋がった業種の壁を越えたアトツギとの交流を事業に活かす。
- 高齢化が進む職人の後継者育成、収益改善等の課題解決に取り組みながら、事業承継に向けた準備を進める。

【小田島氏のコメント】

アトツギトレセンに入り、キャンプやワークなどを通じて同じ立場のアトツギと出会うことで、**自分自身の弱みや新しい価値観の気付き**になりました。

さらにステップアップしていく行動が出来ればいいと思っています。

アトツギトレセンの活用事例③

(株) 滝本新作商店 [札幌市] 専務取締役 **滝本 壮 氏**

トレセン加入

アトツギイベント
北海道よろず

メンターによる
メンタリング

今後の展望

- 昭和7年創業の米屋のアトツギ。同業者が減少する中で自社の存続を模索するためアトツギトレセンに加入。アトツギイベント参加や、よろず支援拠点の支援を受け、アトツギとして自社のミッション・ビジョンについて検討を重ねている。
- メンターの三浦社長 ((株)ミウラ商会) は、斜陽産業における企業の「永続」の意義や中継ぎとしての承継という考え方についてメンタリングを受けるなど、自身の事業と重ねてディスカッションを行うような頼りになる存在となっている。



精米技術が強み



北海道よろず支援拠点との面談

【滝本氏のコメント】

良くも悪くも個人商店である当社が地域経済のために存続する方法を模索しているときにアトツギトレセンを紹介いただきました。ミッション・ビジョンの重要性を認識でき、事業が小規模な段階から実践する機会を得ました。お得意様と距離が近い個人商店の良さを残しながら、どのように事業を発展できるか模索する予定です。

また、道外出身の私が妻の実家である当社を承継予定のため、同年代の刺激しあえる仲間がいると心強いと感じていました。近い世代の後継者が集まるアトツギトレセンで、業種や規模を超えた繋がりも大切にしていきたいと思います。

- 滝本専務は、アトツギトレセンのオフ会を立ち上げるなど、他のアトツギを引っ張る存在となっている。